

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>		災害時のロジスティクスに関する調査研究		担当部局庁	国土交通政策研究所		作成責任者		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		H24		担当課室	-		研究調整官 笹山 博		
<b>会計区分</b>		一般会計		施策名	30 社会資本整備・管理等を効率的に推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		東日本大震災における支援物資輸送の教訓を整理・分析し、支援物資輸送に関わる情報の一元化・共有化のために情報通信技術を活用したシンプルかつ安定的な手段を検討することにより、今後発生が予想される大規模災害(首都直下地震、東海地震等)において、関係者の連携のもと確実に支援物資を届けることを可能とするロジスティクスの確立を支援する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		東日本大震災の支援物資輸送時に顕在化した問題を整理・分析し、システムに必要な要件を明確化した上で、政府・地方公共団体が調達する支援物資について、受発注から避難所までの情報を一元化し、関係者間で共有するためのシステムを開発する。また、システム活用に関する手引きを作成することにより、国・地方公共団体・民間事業者における緊急時対応マニュアルの作成を支援する。							
<b>実施方法</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	-	-	-	13	-	
			補正予算	-	-	-	-	-	
			繰越し等	-	-	-	-	-	
		計		-	-	-	13	-	
		執行額		-	-	-	-	-	
執行率 (%)		-	-	-	-	-			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
		調査検討の報告数		成果実績	件	-	-	-	1
				達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		調査検討の報告数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	1
						-	(-)	(1)	
<b>単位当たりコスト</b>		-		(百万円/件)	算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		0	-	平成24年度限りで廃止することとされた事業であるため。				
	職員旅費		0	-					
	委員等旅費		0	-					
	社会資本整備・管理効率化推進調査費		12	-					
計		13	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	現下の情勢にかんがみ、国土交通行政に関する喫緊の課題を対象としたものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	研究内容の重点化・事業効率・コスト等の観点からも適切に執行されるよう努めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
	災害時のロジスティクスに関する調査研究については、平成24年度に必要となる研究成果を得られる見込であり、当初の事業目的は達成されることから、当該事業は24年度をもって廃止とする。今後は、研究成果を早期にとりまとめ広く情報発信を行うべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	平成24年度に必要となる研究成果を得られる見込であり、当初の事業目的は達成されることから、当該事業は24年度をもって廃止とする。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-2047